

ご自由にお持ちください

2023年

December

12

月号

Topics

インフルエンザ**流行中!**

地域合同**防災訓練**の実施

▶ Contents

Topics

インフルエンザ流行中!

地域合同防災訓練の実施

News

絵画を寄贈していただきました

横浜マラソンに救護スタッフとして参加いたしました!

Events

クリスマスツリーの設置について

Information

年末年始の休診日について

Report

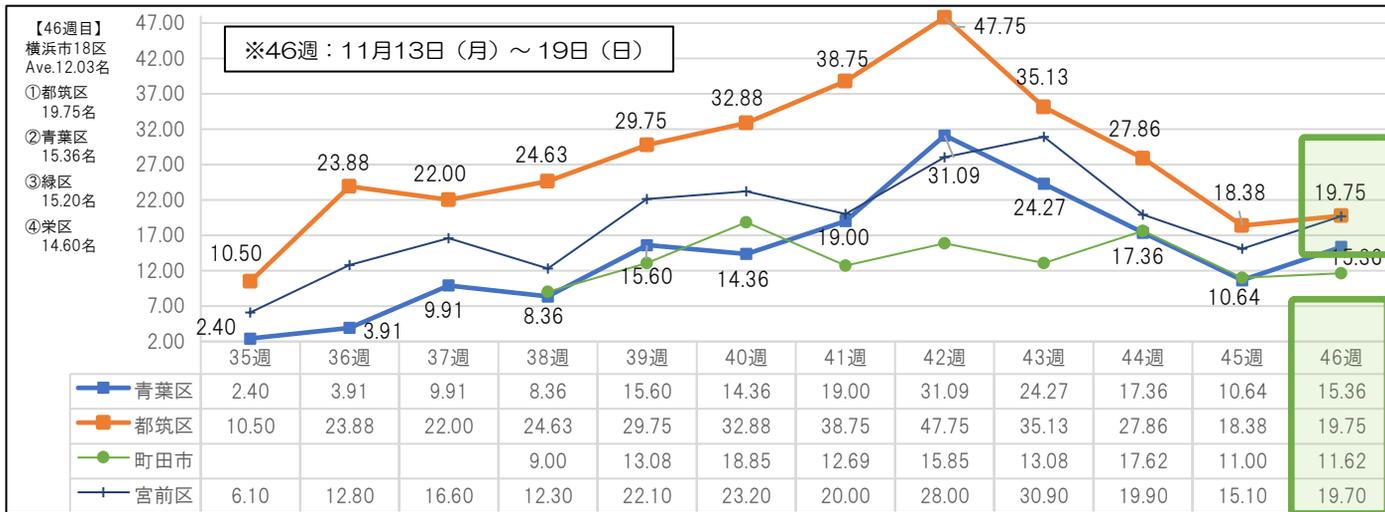
患者さんからのご意見・ご要望

インフルエンザ流行中！

今年は例年の同時期と比較し、インフルエンザ患者が多く発生しています。青葉区内でも定点あたりの患者報告数が「15.36」（【46週】11月13日～19日）となり、流行注意報が発令中です。

横浜市全体の年齢層別構成では、「10歳未満が43.5%、10歳から15歳未満が21.6%となっており、15歳未満が全体の65.1%」を占めています。

■ 横浜市インフルエンザ定点把握発生状況



早めのワクチン接種を検討し、咳エチケットや正しい手洗いなどでインフルエンザを予防しましょう。

● 症状

1～4日間の潜伏期間を経て、発熱（38℃以上の高熱）、咳、咽頭痛、鼻汁・鼻閉等の呼吸器症状、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などの症状が現れます。

鼻閉（びへい）とは・・・何らかの原因で鼻腔（びくう＝空気の通り道）が狭くなり通気性が低下することで、自然な呼吸ができなくなる鼻呼吸障害のことを指し、いわゆる「鼻づまり」のことを指す。

● 手洗いやうがい、マスク着用

インフルエンザウイルスが手やのどに付くのを防ぎます。また手についたウイルスが鼻をこするなどして感染すると言われていいますので、マスク着用するだけでなく手洗いも大切です。

10/15 世界手洗いの日

10月15日は、国際衛生年の2008年に、ユニセフ（国連児童基金）など、水と衛生の問題に取り組む国際機関や大学、企業などによって定められた「世界手洗いの日（Global Handwashing Day）」です。手洗いは、ウイルスや細菌から身を守るために誰もができる、最もシンプルで効果的な手段です。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のパンデミックにより、正しい手洗い習慣がより一層重要視されています。



— 手指衛生キャンペーンを実施しました —

藤が丘病院では10月18日に手指衛生キャンペーンの一環として、100名を超える外来患者さん、職員向けに手の洗い残しチェックを行いました。参加者からは「ここが洗えていないのね」「手が荒れていると汚れが残るのか」などといった声が聞かれ、洗い残しを可視化することで正しい手洗いの大切さと方法を確認することができました。参加してくれた皆様に感謝申し上げます。



■ 手洗いチェッカー手順

手洗いチェッカー
ローション塗布



①手洗いチェッカーローションを手にまんべんなく塗ります

手洗い



①流水と石けんで手をしっかり洗います

洗い残しチェック



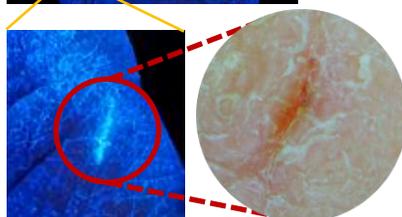
①ブラックライトをあけると洗い残しの部分が光って見えます



爪の付け根の洗い残し部分が光って見えます



手が荒れていると、そこにローション（汚れ）が残ってしまいます



マメに

正しい手の洗い方

藤が丘病院
リハビリテーション科



手洗いの前に

- ・爪は短く切っておきましょう
- ・時計や指輪は外しておきましょう



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



手の甲をのぼすようにこすります。



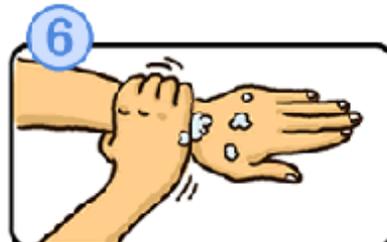
指先・爪の間を念入りにこすります。



指の間を洗います。



親指と手のひらをねじり洗いします。



手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

マメに手洗い、マメにマスクでインフルエンザ予防！



●さらに詳しい情報は… [インフル 厚労省](#) [検索](#)

Events

クリスマスツリーの設置について

12月1日（金）～25日（月）の間、藤が丘病院およびリハビリテーション病院にてクリスマスツリーを設置いたします。
ささやかですが、クリスマスの雰囲気を感じていただければと思います。

設置場所： 藤が丘病院 1階再来受付機ホール
リハビリテーション病院 1階外来待合室前
設置期間： 2023年12月1日（金）～12月25日（月）



絵画を寄贈していただきました



写真左より藤が丘病院 高橋 寛 病院長と
画家：山田 由美子 様



感謝



画家：山田 由美子様より絵画を寄贈していただきました。いただいた絵画は皮膚科外来に設置させていただきます。

横浜マラソンに救護スタッフとして参加いたしました！

横浜マラソン2023の大会救護に、藤が丘病院から医師2名・看護師4名が参加し、レース中盤の救護所での活動を行いました。現場では腹痛やめまい・下肢の筋痙攣を訴える方が数名受診されました。

限られた医療物資や環境下で医療行為・看護手技を実施しなければならないため、対応や判断・物品選択の難しさを実感しました。通常の病院内での医療・看護とはまた違った経験が大きな収穫となったので、今後の看護に繋がりたいと思います。

そして、ランナーの方々がひたむきに走っている姿を間近で見ることができ、私たちスタッフも元気をいただきました。



Information

年末年始の休診日について

年末年始の対応といたしまして、以下の期間は休診日とさせていただきます。
みなさまにはご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解・ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

- 休診日
2023年12月29日（金）～ 2024年1月3日（水）

地域合同防災訓練の実施

10月22日（日）、昭和大学藤が丘病院・リハビリテーション病院地域合同防災訓練を実施しました。本訓練は、災害発生時に適切な行動ができるよう実践的な訓練を行うことにより、防災意識を向上させることを目的としています。

今回は青葉警察署、青葉区各師会（医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護連絡会・看護職連絡会、柔道整復師会）、アマチュア無線非常通信協力会、日本体育大学の皆様のご協力のもと、4年ぶりに大規模な訓練を挙行了しました。



（災害対策本部の様子）



（院内被害状況報告集計の様子）



（職員参集の様子）



（患者搬送の様子）

情報集約や院内各部署への指令を中心とした本部機能訓練、各部署が自部署の被害状況を確認・報告する訓練、災害傷病者を受け入れる災害初療訓練、B棟からA棟への避難訓練等を実施し、職員が幅広く災害対策を経験する機会となりました。

青葉区には1か所の災害拠点病院（重症受入）と7か所の災害時協力病院（中等症受入）、12か所の災害時地域定点診療拠点（軽症受入）が設置されており、藤が丘病院は最も重篤な患者さんを受け入れる災害拠点病院に指定されております。今回の訓練では重篤な患者さんを藤が丘病院で円滑に受け入れるため、軽症患者さんを受け入れる緑エリアをリハビリ病院に設置する運用を試行しました。設置場所が離れているため情報共有に課題はありますが、災害体制の検討として有意義な訓練となりました。

近隣にお住まいの皆様にも青葉区の災害時医療体制を把握していただき、1人でも多くの患者さんが救命されるためにも、重症度に合わせた適切な医療機関への受診にご協力いただければ幸いです。



（診療エリア【赤エリア（重症患者）】の様子）



（診療エリア【緑エリア（軽症患者）】の様子）



（診療エリア【黄エリア（中等症患者）】の様子）



（全体講評の様子）

今回の訓練において抽出された課題に基づいてBCP（事業継続計画）をブラッシュアップし、より盤石な防災体制を構築いたします。今後も「災害拠点病院」としての使命を果たすため、平時からの防災機能強化と地域連携の強化を図ってまいります。

患者さんからのご意見・ご要望

日々患者さんからいただきましたご意見・ご要望に関しましては、病院内全体で共有しております。いただいたご意見・ご要望につきまして、改善内容を掲載させていただきました。掲載されていないご意見・ご要望につきましても別途対応しております。今後もお気づきの点等ございましたら、お聞かせくださいますようお願い申し上げます。



～藤が丘病院～

ご意見・ご要望

藤が丘病院さまの救急受入体制がすばらしいです。受入れてくれること、大変感謝します。

看護師の皆さんも、発声、発音も良く、お年寄りでも聞きとりやすく、分かりやすいです。

回答・改善内容等

この度はお褒めの言葉を頂き、誠にありがとうございます。

救急外来では、救急患者の受け入れ体制の強化に取り組んでおります。また、スタッフは「だれにでもわかりやすい対応」に努めており、頂いたご意見はスタッフの励みとなります。今後も、患者さんに安心して頂けるよう努めてまいります。

【回答部署：救命救急センター、看護部】

久しぶりの手術入院でした。これまで病院のイメージは『無機質、陰うつ』でしたが、医師、看護師、助手、理学療法士、清掃、配膳の皆さんの高いホスピタリティで早期退院することが出来ました。これからは通院となりますが、引き続き宜しくお願い致します。

温かいお言葉ありがとうございます。今後も一生懸命頑張ります。ご指導よろしくお願い申し上げます。

【回答部署：整形外科】

～リハビリテーション病院～

ご意見・ご要望

入院中の食事の味付けをもう少し食べやすいものにしていただけるとありがたいです。

回答・改善内容等

この度は、ご意見いただきありがとうございました。味付けにつきまして、嗜好が合わないようであれば可能な限り嗜好に合うものが提供できるよう調整させていただきますので病棟スタッフへお申し付けください。今後とも調理スタッフと調理方法を見直し、少しでもご満足いただけるように努めて参ります。何卒よろしく願いいたします。

【回答部署：栄養科】

昭和大学藤が丘病院
昭和大学藤が丘リハビリテーション病院

12月号

December 2023

「病院だより」通巻第356号
令和5年12月1日発行
【毎月発行】

発行責任者：昭和大学藤が丘病院 病院長 高橋 寛

編集責任者：広報・公開講座委員会 委員長 森岡 幹

編集：広報・公開講座委員会



病院だより

《広報・公開講座委員会》

森岡 幹、酒井 広隆、鈴木 洋、布山 正貴、小岩 文彦、今井 敦、佐々木 春明、佐藤 伸弘、松原 大、高木 睦子、柴田 綾、出口 智一、孫 雨晨、岡部 圭吾、門田 美佳、川手 信行、西村 栄一、小野寺 真美、廣井 高志、鳥居 美弥子（順不同）



昭和大学
SHOWA University